

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	諏訪湖ストーリー作成による地域振興事業
事業主体 (連絡先)	湖の驛プロジェクト 長野県岡谷市神明町 4-10-1
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,332,400 円 (うち支援金 : 1,065,000 円)

事業内容

諏訪湖を活かしたまちづくりビジョンの実現をめざし、諏訪湖を歴史・観光資源として活かすための作業(史実研究の深耕、観光資源への転換、地域の方々とのコンセンサス形成)としてワークショップを実施。

- ・時期：令和4年6月～令和5年3月
- ・場所：コミュニティスペース「COCODAKARA」他、諏訪湖周辺(史跡、公民館等)
- ・ワークショップ(屋内外)、8回開催
- ・参加者：約700人(地域住民や行政機関、学生、史実の関係者、研究調査者等)



【ワークショップの様子】

【目標・ねらい】

- ①諏訪湖を歴史・観光資源として活かすため、史実研究を深耕。
- ②観光資源の再構築に際し、地域住民の方々とは価値共有しながら、コンセンサス形成

事業効果

- ・ワークショップについては、1回あたり約25人が参加。10月に屋外イベントを実施し、約500人の参加。
- ・屋外ワークショップ、諏訪湖天竜まつりの開催を通じ、諏訪湖を歴史・観光資源として活かす当団体の活動意図(史実研究の深耕、観光資源への転換、地域の方々とのコンセンサス形成)を、認知してもらえた。
- ・昨年は、今後の地域の担い手となる、小中学生やその親世代の参加が少なかったため、屋外ワークショップ、諏訪湖天竜まつりへの、多くの方々の参加により、活動を認知いただいた世代は広がった。

※自己評価【A】

【理由】

- ・昨年実績の約500人に対し、約700人(前年比40%増)の参加。
- ・地域資源としての諏訪湖について、より多くの地域住民と価値共有する機会をつくった。

今後の取り組み

地元学校の学びの機会、観光客と地元住民との交流の機会を推進に強化、SNSによる情報発信、関係団体との連携による観光振興策などを積極的に実施していく。

中長期的には、諏訪湖の水辺空間を活用した事業(令和3年度より、長野県、岡谷市、花岡区、地元企業と形成する協同プロジェクトが発足)として、天竜川舟通し乗船サービス、釜口水門の見学ルート設置、史実に基づく聖地づくり、水辺カフェの設置、観光バス駐車場の整備、既設の公共物件とあわせた諏訪湖観光ルートづくり等の実施に対し、地域参加のコンセンサスを主導していく役割を担っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある